



## 新図書館の建設について

小牧市は、老朽化した現在の図書館に替わる新図書館を、現在の小牧駅西駐車場・にぎわい広場に建設することとし、5月1日に新図書館建設推進室を立ち上げる。

また、新たに官民パートナーシップ(PPP)の取り組みとして、新図書館の設計段階から市及び設計業者にアドバイス支援を行う連携民間事業者を公募型プロポーザル方式により選定し、既存の図書館の枠にとられない施設を目指す。

### 1. 目的

- ◇ 現在の市立図書館（昭和53年1月開館）の老朽化・狭隘化に対応する。
- ◇ 利用者の利便性向上と拡大を図る。
- ◇ 中心市街地のにぎわいを創出する。

### 2. 建設場所

現在の小牧駅西駐車場及び  
隣接市有地（約3,800㎡）  
小牧市中央一丁目234番地外



### 3. スケジュール

平成28年度の着工に向け、基本設計業務委託費等を6月議会の補正予算案に盛り込む。また、連携民間事業者と設計業者は公募型プロポーザル方式により選定する。

- ◇ 平成26～27年度：基本設計
- ◇ 平成27～28年度：実施設計
- ◇ 平成28～29年度：本工事
- ◇ 平成29年度末～30年度：供用開始

#### 4. 新図書館のイメージ

アクセスしやすい小牧駅西に立地し、広く開放的な空間の中で、従来よりも多くの図書資料を備えるなど快適な利用環境を整備するほか、開館日数や開館時間の延長により、利用者の利便性の向上を図る。

さらに、本と人、人と人との出会いの場という図書館の本質を基本に、民間のノウハウやアイデアを活用し、若者や社会人など今まであまり図書館に親しみがなかった人々を惹きつけ、時代のニーズに合った図書館とする。

また、遠くからでも行ってみたいと思われる図書館、また来たいと思われる居心地のよい図書館とすることで小牧駅周辺の賑わい創出につながる。

#### 5. 民間事業者との連携

図書館の管理運営体制としては、民間事業者のノウハウや柔軟な企業経営力を最大限に活用できる指定管理者制度を導入する。

また、連携民間事業者(将来指定管理候補者)の選定にあたっては、事業者が持つ創造力、実行力を十分に発揮した事業の提案を求めることから、公募型プロポーザル方式を採用し、平成26年7月頃に募集を開始する。

連携民間事業者は、新図書館の設計段階から市及び設計業者にアドバイス支援を行う。

問合せ先

市長公室市政戦略課 鵜飼 電話 0568-72-2101 (内線 240)

教育委員会事務局 舟橋 電話 0568-72-2101 (内線 365)



キミと一緒に、育ってきたい。  
**Komaki**